

質問4 協会設立 50 周年記念事業について

(該当箇所:報告事項1)、p.4:平成 27 年度重点活動項目 7-2))

50 周年記念事業は、内外両方、極めて重要な事業であると認識しています。議案書 4 ページに、「協会設立 50 周年事業及び「日本作業療法士協会 五十年史」発行準備…新規」が記載されています。内容が不明確です。全国 47 都道府県の士会も巻き込み、大々的に OT を広報啓発する展開も重要と思います。

発行準備と記載されていますが、本気度が足りないのではないのでしょうか。50 周年記念事業・発行はいつするのですか？ 全体の事業内容、予算規模等を、明確に示していただきたい。

回答

1)協会設立 50 周年記念式典

昭和 41 年(1966 年)9 月 25 日に設立された日本作業療法士協会は、平成 28 年(2016 年)9 月 25 日に設立 50 周年を迎えます。協会は平成 26 年度第 8 回理事会(平成 26 年 12 月 20 日)において、40 周年時の概要を踏まえて 50 周年記念式典について検討し、式典の概要の暫定案として以下のことを確認しました。

会 場 : 東京都内のホテル

内 容 : ①講演会、②表彰式、③祝賀会 の三部構成

日 程 : 平成 28 年(2016 年) 9 月 25 日(日)

日程については様々な案が考えられましたが、①この日が設立 50 周年記念日当日であること、②この前日に 47 都道府県委員会を開催するよう日程調整し、都道府県士会長が参加しやすい状況とすること、③第 50 回日本作業療法学会(札幌)から 2 週間後だが、早くから日程を決め周知することで会員も参加しやすくなると思われること、④式典を午前中から開始し、昼食を兼ねて祝賀会を行えば、遠方からでも参加しやすくなること、などの理由から、この日程を暫定案としました。

すでに厚生労働省との間で大臣表彰に関する打合せを行うなどの下準備は進めていますが、平成 27 年度定時社員総会の役員改選後に正式に実行委員会を立ち上げ、本格的な準備に入る予定です。予算については実行委員会にて検討を行い、事業内容を明確にした上で平成 28 年度予算に計上する予定です。(なお、40 周年記念式典時は、収入総額が 16,173,000 円(PT・OT 両協会から各々 300 万円ずつの援助金を含む)、支出総額が 12,136,358 円となり、余剰金を折半して各協会に 2,018,321 円ずつ還付されました。この時は日本理学療法士協会との合同事業であったのに対し、今回は当協会の単独事業となりますが、50 周年の大きな節目の行事であり、諸費用の高騰なども勘案しますと、最低でも 1,500 万円程度の予算規模になるものと予想しています。)

2)『日本作業療法士協会 五十年史』の編纂・発行

50 周年記念誌編集委員会の設置については、昨年の『平成 26 年度定時社員総会議案書』p.33 にてお知らせしたところですが、その後、当委員会は 2 ヶ月に 1 回程の頻度で会議を開催し、企画・編集を行っております。まず基本的なコンセプトとして、単なる記念文集ではなく、資料的な価値の高い『協会五十年史』として編纂することが確認されました。内容は大きく分けて、①協会設立前史、②協会五十年史(通史)、③協会組織発展史、④協会事業活動史、⑤資料集、の 5 部構成とし、協会の各部署・各担当に割り振って資料収集・執筆・編集作業を鋭意進めているところです。仕上がりの全体像はまだ見えておりませんが、企画規模としては A4 判、300 頁、CD-ROM 付きという想定で、平成 28 年度の前半、遅くとも 9 月の記念式典には間に合うように発行いたしますので、こちらについても平成 28 年度予算に必要経費を計上する予定です。